

1 学校経営の基軸

1 学校教育目標 「 自立 協働 創造 」

自立 教育を受ける権利の具現化こそが学校の使命であります。それは国民として、あるいは世界市民として自立して社会を構成し、幸福に生きていくための権利でありますから、将来の自立を保障する資質・能力の育成を1つ目の学校教育目標とします。

協働 予測困難な社会の多様な価値観の中で生きていく将来の国民にとって、学校における集団生活は重要な学びとなります。多様な他者を尊重し、協調し、衆知を集めて未知の課題に挑み、解決にたどり着ける資質・能力の育成を2つ目の学校教育目標とします。

創造 学校で身につけた資質・能力は、新たな価値を生み出すためのものです。健康かつ主体的に生き、社会に働きかけて何かを変える、創り出す資質・能力の育成を3つ目の学校教育目標とします。

学校教育目標とは、この学校の行動原理であり、すべての教育活動において実践されるべきものです。この学校に関わるすべての人に理解し、覚えてもらえるものとするためにこの3つに整理しました。

保護者ならびに地域の皆様におかれましては、この目標を学校と共有し、協働して地域の教育活動推進にご協力くださいますようお願いいたします。

2 基本理念

- (1) あらゆる場面で生徒を中心に据えた教育活動を展開する。
- (2) 地域・保護者と協働して教育活動を展開する。
- (3) 社会の変化に対応し、合理的かつ柔軟な教育活動を展開する。



教育活動に関する学校としての方針を示したもので、「生徒中心」「協働」「多様性」をキーワードとして取り組んでまいります。特に地域の皆様には学校のよきパートナーとして、ともにこの地域の子どもたちを育ててくださいますようお願い申し上げます。

また、将来の世界を担う子どもたちを育てる学校としてSDGsの考え方に賛同し、教育活動に取り組んでまいります。17の目標のうち、4つを学校経営方針の中に取り入れております。

II 学校経営の目標

1 めざす生徒像（学校課題）

- | |
|--------------------------------|
| ○自ら考え、自ら行動し、真理を求める生徒 【自立】 |
| ○他者を尊重し、力を合わせてともに高め合う生徒 【協働】 |
| ○健康な心と身体をもち、喜びに満ちた未来を創る生徒 【創造】 |

本校は、こんな資質・能力をもった生徒を育成します。

	確かな学力	豊かな心	健やかな身体
自立	①課題を正しく捉え、論理的に考えられる言語化能力・思考力	②社会の一員として礼節を重んじ、積極的に社会生活に参画しようとする態度	③自らの健康を維持、増進させる態度
協働	④他者と思考を共有し、補い合うことで多角的な分析を行い、最適な解決策を選択する判断力	⑤他者への寛容と集団における公正を実践する力	⑥他者と協力しながら安全で衛生的な環境を構築する力
創造	⑦習得した知識・技能を学習や日常生活の中に生かして新たな課題を解決する力	⑧自らの倫理観と社会の倫理観に照らしてよりよい生き方を模索する力（規範の創造）	⑨自らの身体の発達に合わせて体力の向上を図る力

学校運営協議会が掲げる「目指す15歳の子ども像」の具現化に資するため、学校教育目標を具体的な生徒の姿として文章化しました。これを生徒、保護者および地域の皆様方と共有しながら教育活動を進めてまいります。

また、学力調査の結果等を踏まえ、本校の課題を明確にしながら、教育活動の質的向上を図るために、育成すべき資質・能力を明確にしました。

2 めざす教師像

- (1) 教育に対する情熱と使命感にあふれ、切磋琢磨して指導力を磨き続ける教師
- (2) 広い視野と豊かな感性をもち、コミュニケーション能力の高い教師
- (3) 合理的で柔軟な思考をもち、主体的に学校経営に参画する教師

3 めざす学校像

- (1) すべての生徒が学ぶ喜びに満ちあふれている学校
- (2) 教育効果に責任を負い、保護者から信頼される学校
- (3) 教職員がやりがいと誇りをもって働く、教育効果の高い学校
- (4) 地域と共に社会の担い手を育成し、地域に貢献できる学校

Ⅲ 今年度の重点と具体的方策

1 学校安全

【重点】 学校に関わるすべての人の生命・人権の安全を保障し、学校に対する信頼を獲得する。

- (1) 生徒指導対策委員会において明確な方針をもち、組織的な対応を継続的に行い、いじめ・不登校問題をはじめとする生徒指導上の課題解決を図る。(生活安全)
- (2) 危機管理マニュアルを整備・活用し、保護者および地域と協働する危機管理体制を整える。(生活安全・交通安全・災害安全)
- (3) 人権感覚を養うため、すべての教育教育活動とその指導の在り方について多様性や人権教育の観点から見直し、必要な改善は年度中に行う。
- (4) 生活アンケートを毎月実施するとともに、教育相談の体制を整備して生徒の不安や不満を早期に発見し、解消することで安心して学べる環境づくりを推進する。(生活安全)
- (5) 隔月の安全点検日を設けて校地内の施設・設備の安全点検を行い、危険を迅速かつ完全に除去する。(生活安全)
- (6) 教職員の危機管理能力の一層の向上を図る。(生活安全)

学校は子どもたちの命を預かる場所です。安全がすべての基本となると考え、最優先の課題として位置づけています。すべての生徒が明るく学校生活を送ることができるよう、個別の課題に対しても学校を挙げて組織的に対処してまいります。

2 教育課程

- (1) 「確かな学力」

【重点】 生きて働く知識・技能を育成する。(活用・実践型教育活動の展開)

- ① 総合的な学習の時間を核とする教科等を横断した実践的な学びを展開し、知識・技能の習得と発揮の場面を明確にしたカリキュラム・マネジメントを推進する。→⑦
- ② すべての教育活動において、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その成果を検証して学校教育目標の具現化に結びつける。→①、④
- ③ 指導と評価の計画に基づいた指導と評価の一体化を図り、生徒を自立した学習者に育成する。→①、⑦
- ④ すべての教科、領域において苦小牧市共通取組場面(※1)を位置づけた協働的な学びを提供し、形成的評価を行うことで学びの過程を評価・指導し、学びに向かう力の育成を図る。→④
- ⑤ ICTの活用を一層推進し、学びの個別最適化を図る。→①、④
- ⑥ 情報センターとしての学校図書館の機能を強化し、情報活用能力の伸長を図る。→④、⑦

昨年度に引き続き、知識・技能を活用する力の育成を一層進めるため、どのような力をどの場面で身につけ、どの場面で発揮するかを見通した計画を立てて教育活動を進めます(=カリキュラム・マネジメント)。また、学習評価については、テスト等の結果

だけを評価するのではなく、生徒自身が学びを修正したり、調整したりできるよう、どうすれば学習の目標に到達できるかを見取り、評価する（＝形成的評価）ことで指導と評価の一体化を進め、自ら学びに向かう力の育成を目指します。

（※1）苫小牧市共通取組場面…令和6年度から市内すべての小中学校において実施される取組です。授業の中に「見通す、決定する、協働する、振り返る」の場面を設定することとなっております。

（本文中の「→①」などの番号は、育成を目指す資質・能力の番号に対応しています。）

（2）「豊かな心」

【重点】 自他を理解し、尊重し、社会を形成する態度を育成する。

- ①あいさつの励行と言葉によるコミュニケーション力の涵養に注力する。→②、⑤
- ②生徒個々の理解に努め、生徒個々の自己有用感を高めるとともに、互いに認め合う集団を育てる。→⑤、⑧
- ③すべての学習活動において振り返る場面を設定し、生徒が自らの成長や課題を実感しながら個性や適性を発見できるよう支援する。→②、⑧
- ④生徒会や学級における自治的な活動を通して他者意識と規範意識を育成する。→②、⑤
- ⑤考え、議論する道徳授業を展開し、道徳的価値の根拠を自分の頭で考え、再構築する力を養う。→⑧
- ⑥学校外の人材や組織と連携し、多様な価値観に触れながら望ましい社会参画の意識を育てるキャリア教育を推進する。→②
- ⑦校内美化に努め、創意ある掲示・放送活動を展開し、落ち着きと潤いのある学習・生活環境を整える。→②、⑧

中学生の発達段階を考慮し、広く社会に通用するコミュニケーション能力を身につけられるよう、他者を意識した言葉による対話や伝達について指導して参ります。また、多様性を尊重し、お互いの個性を相互補完的に発揮しながら社会を形成していけるよう、寛容の精神を育みます。さらに、生徒が自ら規律をつくっていく自治的な活動を取り入れ、生徒の自律的な規範意識の向上を目指します。

そのため教師は、生徒が何をどのように学び、できたことや課題として残ったことをともに考え、生徒が自ら個性の発見し、自己有用感を高められるよう指導します。

（本文中の「→①」などの番号は、育成を目指す資質・能力の番号に対応しています。）

（3）「健やかな身体」

【重点】 健康なからだづくりと衛生的な環境整備に取り組む態度を育成する。

- ①食育を推進し、食文化・マナーを含めた望ましい食生活の習慣化を図る。→⑥
- ②生徒会活動等においてレクリエーション活動を通年で計画的に行うなど、運動習慣を身につけさせる時間を設定する。→③、⑨
- ③生徒主導による保健・衛生活動を実施し、自ら健康の維持、増進を図る態度を育てる。→③
- ④生と性の教育を全校体制で実践し、生命尊重の態度を育てる。→③、⑨
- ⑤防災、防犯等の安全教育を外部機関とも連携しながら推進する。→⑥

中学生という発達段階を考慮し、自らの健康の維持・増進を図る力の育成に取り組み

ます。性教育から防災等の安全教育まで、自分だけでなく、他者の健康や安全、ひいては人権の擁護までを考える教育活動を展開しながら、生徒の健全な発育と健康な身体づくりに取り組んでまいります。

体力の向上については、運動習慣を身につけるところに注力し、そうした習慣に基づく体力の伸長を個々の能力に応じて図ります。

(本文中の「→①」などの番号は、育成を目指す資質・能力の番号に対応しています。)

(4) 特別支援教育

【重点】すべての生徒を対象に個の特性に合わせた多様な学びを提供する。

- ①特別支援教育コーディネーターを中心として、全校体制でインクルーシブ教育を実践する。
- ②特別支援学級に教科担任による教科指導を取り入れる。
- ③学びの支援委員会において評価・分析を行い、明確な目標と具体的な方策をもって指導に当たる。
- ④個の学びについて、客観的な事実に基づく現状を保護者と共有し、将来像を描きながら必要な指導・支援について共通理解を図るとともに、その成果と課題を確認する。
- ⑤小学校との緊密な連携に基づく適切な就学指導に努め、一貫性と連続性のある支援を行う。

在籍する学級が通常学級であるか特別支援学級であるかに関わらず、必要な教育的支援をあらゆる場面でを行い、すべての生徒を包み込むインクルーシブ教育と、さまざま特性をもった生徒たちが皆同じ立場で主体的に参加できるユニバーサルデザインの教育活動を進めてまいります。

(5) 小中一貫教育

【重点】「目指す15歳の子ども像」の具現化に向けたスムーズな小中接続を実現する。

- ①学校教育力向上エリア会議を通じた9年間を見通したカリキュラム・マネジメントの推進
- ②『学習の約束』に基づき、一貫性と連続性のある学習指導を展開する。
- ③学校行事等を通じて、児童生徒の交流を図る。
- ④生活規律など生徒指導面でも一貫性と連続性のある指導を実践する。

清水小学校とのより一層深い連携を図り、「目指す15歳の子ども像」の具現化に向けた学習指導、生徒指導の改善に努め、この校区の子どもたちが9年間一貫した指導を受けられる体制づくりを目指します。

3 教育の質の向上

【重点】協働的な学びの展開と振り返る力を育成する。

- (1) 苫小牧市共通取組事項に基づき、協働的な学びと形成的評価のある教育活動の研究を推進する。
- (2) 学習活動における1人1台端末の効果的な活用方法を探求する。

- (3) しなやかに生きる心の育成に関する研修を実施する。
- (4) 働き方改革コアチームを中心とした校務の効率化の研究を推進する。
- (5) 校長および教職員は、積極的に校外研修に参加し、その成果を相互に還元し合う。

一人ひとり違った能力や特性をもった生徒たちが協働して学ぶとき、独力では解決できなかった課題を解決できるようになります。ICTの活用をより一層推進し、多様な他者が集まってこそその学びを提供することですべての生徒の学力を伸ばす教育活動を追求してまいります。

また、多感な思春期の生徒たちがさまざまな悩みを抱えたとき、それに寄り添い、支えながらやがて社会に出る大人としての心構えまでを身につけられるよう、心理的なサポートのあり方を追求し、誰もが明るく健康に通える学校を目指します。

そしてこれまでに引き続き、教育の質的向上を目指して教職員の業務の効率化・合理化を進めて参ります。何卒、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。

4 家庭・地域との連携

【重点】家庭・地域とのパートナーシップを構築する。

- (1) コミュニティ・スクールを一層推進し、地域の教育力を生かしたふるさと教育を行う。
- (2) 学校の教育活動を積極的に公開し、保護者および外部との連携の円滑化を図る。
- (3) 学校の教育活動に保護者や地域の教育力を積極的に導入し、協働して地域の子どもを育てるとともに教職員の業務効率化を図る。
- (4) 学校ホームページ、学校だより、学級通信および一斉メール等により、積極的な情報発信を行い、教育活動のあらゆる面において説明責任を果たす。
- (5) 年2回の学校評価を行い、教育活動の成果と課題を確認するとともに保護者および地域の声を学校改善に生かす。
- (6) 保護者および地域と連携した地域スポーツ・文化クラブの持続可能な運営を推進する。

コミュニティ・スクールが導入されて4年がたちました。これまで保護者、地域の皆様のご理解とご協力により、子どもたちの育ちが見える地域の教育活動が展開されてきました。学校としましては、これからも将来の地域社会の担い手をどう育てるか、そのために学校教育ができることについて保護者や地域の皆様とともに考え、実践していきたいと考えております。皆様との間と同じゴールを目指す真のパートナーシップを構築すべく、教育活動の目的や手立てを明確に示した実践に取り組みます。

また、今年度から始まる苫小牧型部活動地域移行にも積極的に取り組み、新しい放課後活動のあり方を求めてまいります。

保護者並びに地域の皆様におかれましては、どうかこの点をご理解くださいますようお願い申し上げます。学校運営協議会の活動にもご協力くださいますようお願い申し上げます。